

表-4

🌱 キャリア開発ラダー別看護研修

平成 27 年 4 月改定

項目	研修コース別		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
	臨床経年数	臨床1年目	臨床2年目	臨床3・4年目	臨床5・6年目またはレベルⅢ同等認定者	レベルⅣ認定者	レベルⅤ認定者
到達目標			1. 基本的な看護技術を習得し、安全・安楽に実践できる 2. アソシエイトナースとしての役割を理解し、実践できる 3. 事例のまとめを通し自己の看護観を深めることができる 4. 社会人として自分を高めることができる	1. プライマリーナースとしての役割を理解し、実践できる 2. がん看護の専門知識と技術を深めることができる 3. 事例をまとめ、語ることで自己の看護観を深めることができる	1. プライマリーナースの役割を主体的に実践できる 2. がん看護の専門的知識と技術を深め、科学的根拠に基づいた看護援助が実践できる 3. 課題を見出し、主体的に看護研究に取り組むことができる 4. 看護管理を理解し、看護単位の問題について気づくことができる	1. 看護の専門性を高め、リーダーとしての役割がとれる 2. 後輩および学生に対し、指導や助言ができる 3. 看護単位において、指導を受けながら管理行動がとれる 4. クリティークの視点を持ち、理論と実践を結び看護課題を見出し深めることができる 5. 自己のキャリア開発に向けて、具体的なキャリアビジョンを描くことができる	1. 看護上の問題を専門的な知識を用いて総合的に判断し、他部署との連携を図りリーダーとして看護実践できる 2. 看護単位における教育的役割ができる 3. 看護師長・副師長を補佐し、看護単位の目標達成に向かい主体的に取り組むことができる 4. 自己の目指す専門領域について、自己研鑽ができる
基礎看護	看護実践能力	1. 看護技術	基本的な看護技術(演習)	OJTで習得			
		2. 看護師の役割理解	アソシエイトナースについて・メンバーシップ	プライマリーナースについて・メンバーシップ	リーダーシップ理論についてリーダーシップ	新人・学生指導研修(院外)	教育担当者研修(院外)
		3. 看護記録	NANDA看護診断看護記録	事例を基にしたNANDA看護診断と看護過程の展開	全体研修:必須 NANDA看護診断グループワーク		全体研修
		4. 救急看護	院内研修:BLS	院内研修・院外研修	院内研修・院外研修		
		5. 災害看護	看護部全体研修 & OJT	院内研修・院外研修	院内研修・院外研修		院外研修
		6. 感染管理	院内研修	院内研修・院外研修	OJT	部署の問題に取り組む	部署の問題に取り組む
	管理看護	マネージメント医療安全管理	病院、看護部の理念・目標について組織人としての役割、接遇・マナー、健康管理、インシデントについて	全体研修:看護部の目標についてOJT:部署目標について	部署の物品管理について意見交換チーム医療について	看護の動向 政策と実際について学ぶ目標管理について	院外のマネージメント研修を受講病棟内の管理実践
		教育・研究	看護観	リフレクション研修「私の看護観」	ナラティブ研修「看護観」	研究をまとめ、自己の看護観を見つける	
	看護研究				研究基礎 理論の使い方「事例研究」の実践		研究の推進病棟内での支援・指導
	人間関係	コミュニケーションメンタルヘルス	コミュニケーション看護協会研修	院内全体研修:メンタルヘルス	コーチング研修	院外:コミュニケーション関連研修	院内全体研修:メンタルヘルス管理の視点を持つチームビルディング
倫理看護	看護倫理基礎	看護倫理	倫理綱領を読み解く フライ倫理原則を考える	看護倫理:病棟内事例検討へ参加倫理綱領に照らした意見交換	全体研修:「事例検討会」	倫理的事例について取り組みまとめる	
がん看護専門	1. がん治療と看護(臨床試験を含む)	放射線療法と看護基礎 化学療法と看護基礎 緩和ケアの基本的な考え方 死生観	放射線療法の副作用・合併症と看護 化学療法の副作用・合併症と看護 緩和ケア	院内研修:緩和ケア チーム医療	①手術療法・放射線療法・化学療法を受ける患者のための総合アセスメントと看護介入 ②治験・臨床試験について	手術療法・放射線療法・化学療法の看護に応用するための補完・代替療法(演習)	
				治験・臨床試験について: CRC 講義			
	2. がん患者と家族への看護	がん患者と家族の特徴理解	危機理論と看護への応用 院内研修	がん患者を支える家族の理解と支援 がんサバイバーを支える看護	真実告知と看護 家族看護	死生観 ストレスコーピングとソーシャルサポート	
	3. がんに伴う苦痛へのアセスメント	がん性疼痛マネジメントの基礎と麻薬の取り扱い	がん性疼痛治療(全人的理解)と看護	継続した疼痛コントロール	がん性疼痛看護応用編、疼痛以外の身体症状マネジメント・せん妄機能障害とリハビリ	ターミナルケア論(終末期の症状マネジメント他)	
	4. がん患者・家族に関わる倫理調整		倫理綱領を読み解く フライ倫理原則を考える	がん患者・家族の倫理的問題提起と意見交換	がん患者・家族の倫理的問題、退院支援について問題提起・意見交換	倫理的事例について取り組みまとめる	
5. 退院支援・調整	OJT	同左	がん患者の療養生活環境、在宅医療の実際	院外研修:地域連携と退院調整			

注 全体研修について

- 必須とは ;該当する研修者は必ず受講が必要となります。
- 選択とは ;レベルⅣ研修者の自主性に任せます。
- ◇ 全体研修への参加は、該当研修者以外でも自主的に自由参加できます。
- ☆ 全体研修は全体研修の担当者が計画から実施までを一貫して行います。(それ以外は各研修の担当者が計画から実施を行います)